

概要

ワークビューは、OnBase 管理者が実際の業務形態に即したソフトウェアアプリケーションを作成することを可能にする開発フレームワークです。プログラミングを全く行わずに、ユーザー、部署、または組織全体のニーズに合わせてカスタム化することができます。また、業務上重要なデータを保持した上で、それらを OnBase コンテンツや業務プロセスに連携させることができます。ワークビューは、表計算ソフトや部署内のデータベース、レガシー業務アプリケーションといった従来のデータ管理ソリューションを置き換える優れたツールで、業務データ、連絡履歴、関連ドキュメントなどを一元的に記録・管理することで、業務トランザクションや業務プロセスの全体像をより効果的に把握することを可能にします。

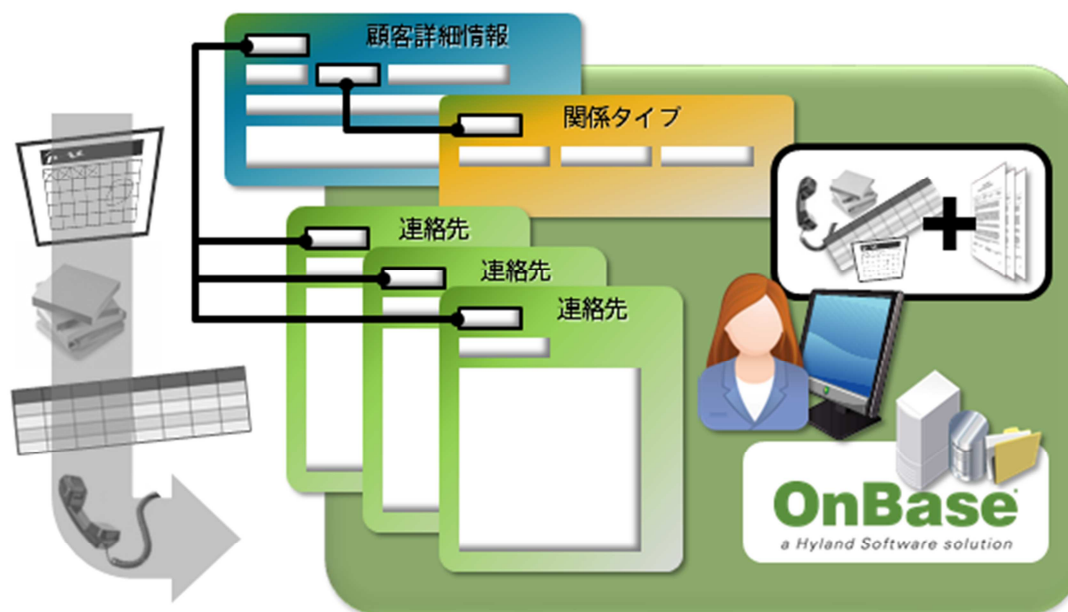
主なメリット

- 業務トランザクションや業務プロセスに関連するドキュメントやデータを1つのインターフェースで表示
- アプリケーションのカスタム化に従来必要だったプログラミングに代わり、設定可能な開発フレームワークを提供
- データおよびデータ中心のアクティビティを表示・管理することで、案件管理や業務プロセスの遂行を円滑化
- 複数のデータソースから情報を検索する必要性を削減することで担当者の生産性を向上
- 部門主体のものから全社的なものまで、組織の規模に合わせて多数のアプリケーションを作成可能

アプリケーションの利用価値

- CRM ソリューション：営業部門における顧客関係管理ツールとしてワークビューを活用することで、見込み顧客や商機の把握、売上実績や売上見通しの作成、顧客との連絡履歴の管理などを強化できます。通常の CRM システムとは異なり、ワークビューはすべてのドキュメントと情報を単一の設定可能な画面に集約することができるため、情報へのアクセスが向上し、意思決定を迅速化することができます。
- 案件管理：ワークビューは、ヘルプデスクにおける問題管理、カスタマーサービスでの顧客対応、保険金支払処理の進捗管理など多種多様な業務において使用可能で、通常のビジネスプロセスの一環として行われる様々なやり取りの管理や、不一致が生じた場合の対応に優れた機能を提供します。ワークビューによって、特定の問題に関するすべての情報が1つに集約して表示されるため、ユーザーは散在するデータソースを個別に検索して問題解決に必要な情報を探さず必要がなくなります。
- アプリケーション開発における代替手段：ワークビューを使用することで、カスタム API や独自のプログラム言語を必要とせず、素早く簡単にカスタム業務アプリケーションを構築できるため、カスタム開発アプリケーションの開発、統合、保持に通常伴う高コストを低く抑えることができます。

デザイン



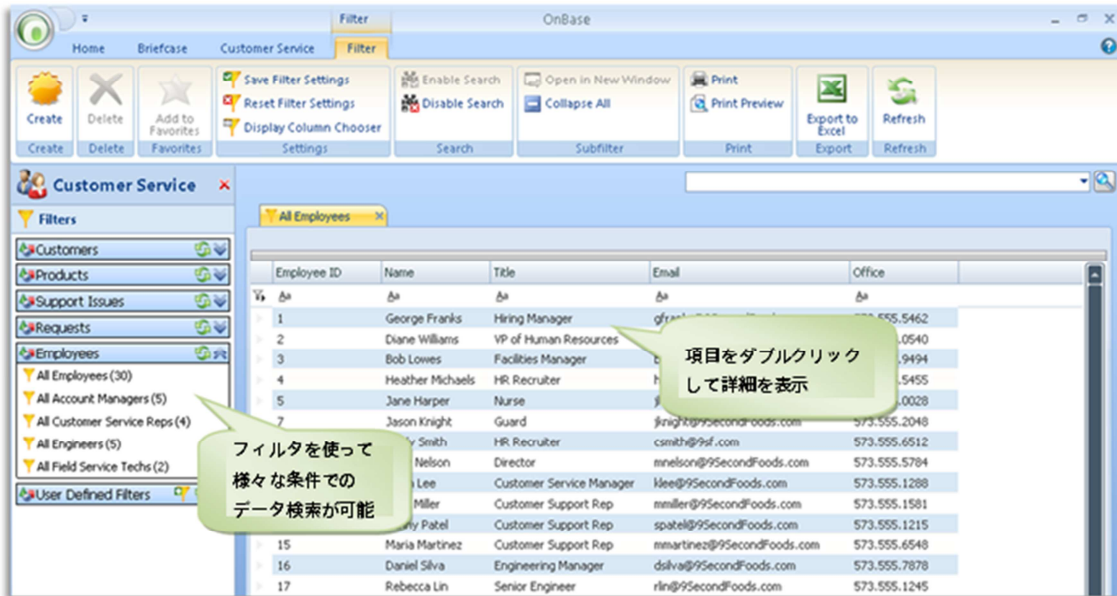
ワークビューは、OnBase におけるリレーショナルデータの集約・管理を可能にし、業務関連のやり取りを記録したり、関連する業務データを掲載したりするための一元管理された場所を提供します。業務データと連絡記録を集約した上で OnBase ドキュメントと関連付けることで、特定の業務を取り巻く情報、トランザクション、履歴に関する全体像をより確実に把握することが可能となります。

主な特徴

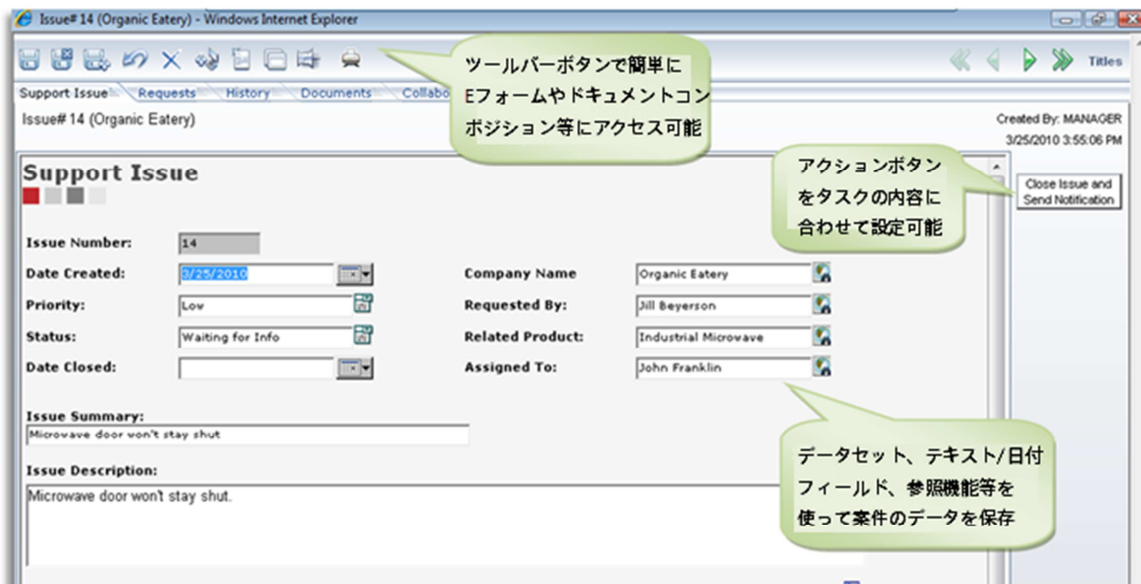
- プログラムレスのポイント・アンド・クリックで設定可能な開発フレームワークにより、素早くアプリケーションを作成・展開可能
- 統合ワークビューデザイナーによって、各ユーザーの表示画面を完全にカスタム化可能
- 外部データソースから関連業務データを表示可能
- 緻密なセキュリティオプションによって情報へのアクセスやユーザー権限を管理
- ワークビューの項目内から関連ドキュメントを表示可能
- 新規情報や更新情報についてユーザーにEメールで自動通知
- 履歴やイベントログを取り込んで完全なトランザクション記録として永続的に保存可能

インターフェース

ワークビューのフィルタ結果画面にクエリ結果を表示した例



ワークビューオブジェクト画面にオブジェクトの属性、データ、および実行可能なタスクを表示した例



HYLAND
SOFTWARE